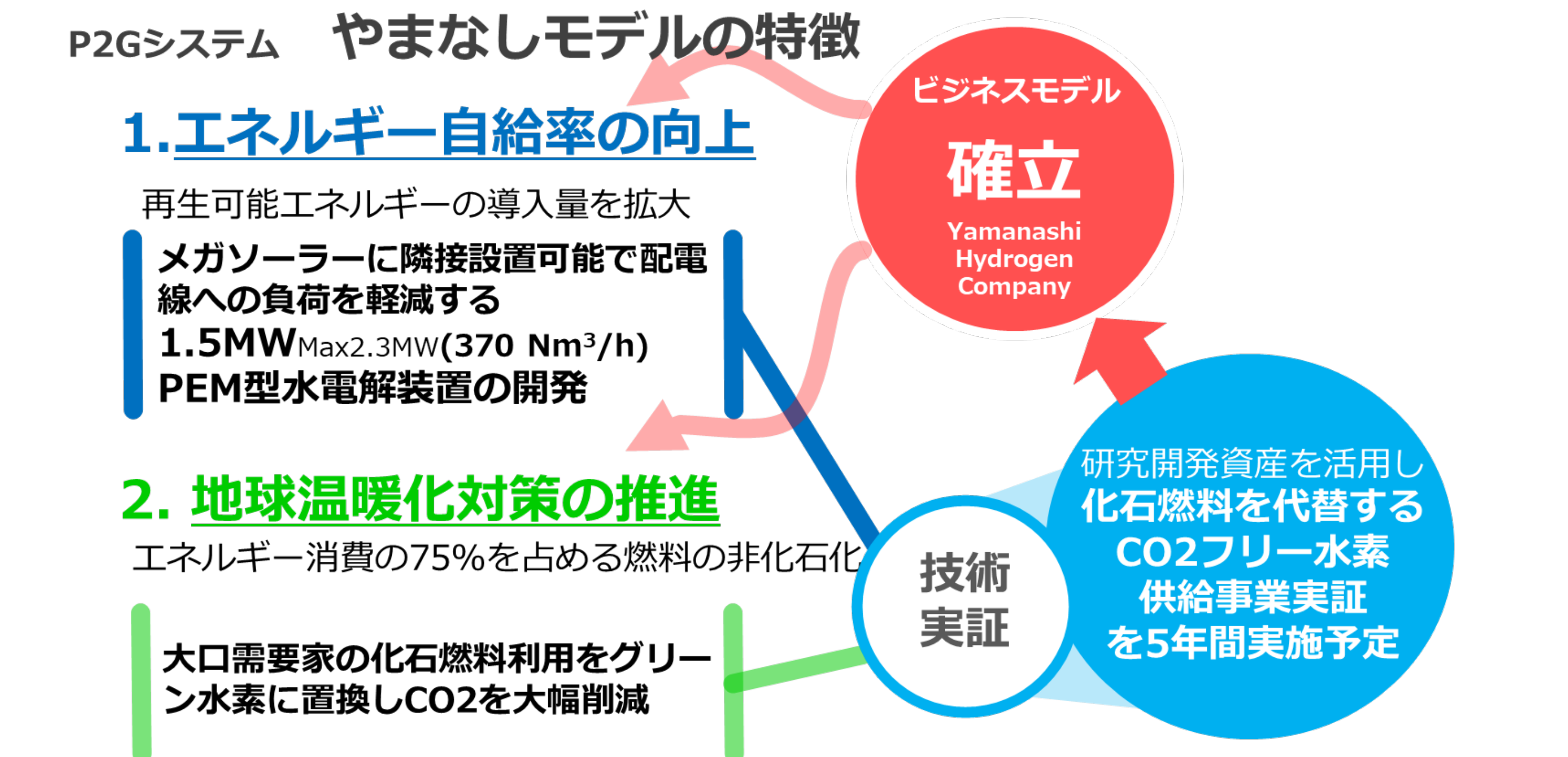


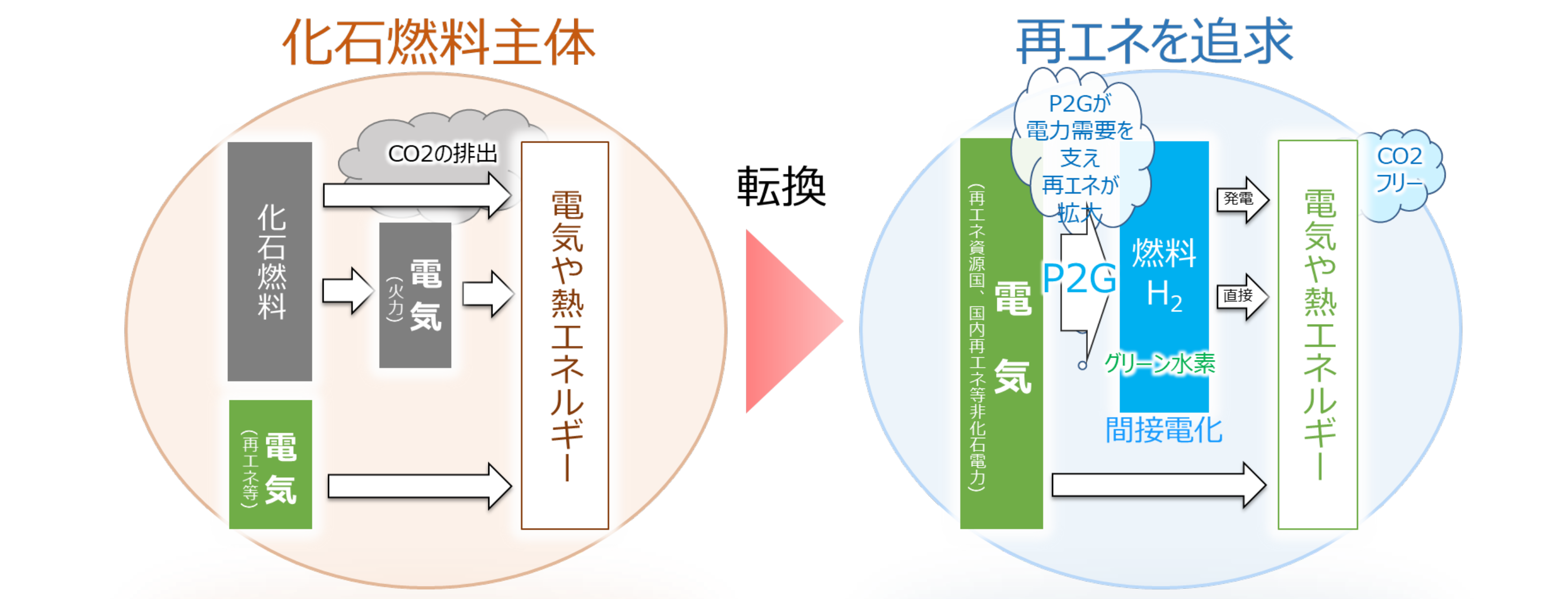
1. 本事業の背景と目的

- 米倉山での1.5MWの実証成果を踏まえ、これまで培ってきた技術を活用し、エネルギー自給率の向上や地球温暖化対策の推進に取り組む

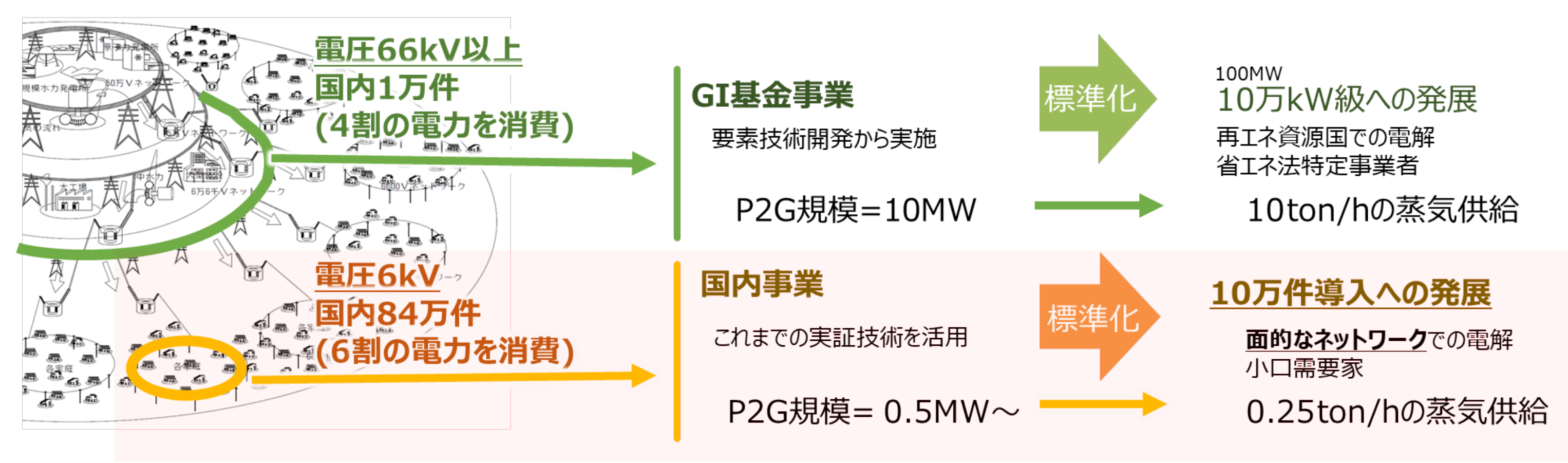


2. 本事業の位置付けと必要性

- 化石燃料主体のエネルギー需給構造から、再生可能エネルギーの利用拡大を追求すべく、P2Gシステムを活用する。



- 米倉山実証での1.5MWシステムのシングルスタック規模である500kWシステムを、6kV配電線連系の需要家に、P2Gの入門モデルとして導入を進める。



3. 研究開発の成果・進捗状況

[1] 500kW級ワンパッケージP2Gシステムの開発

- P2G試作1号機の実証運転を開始し、評価検証を実施中
- P2G試作2号機の製造・試運転および実証場所への据付完了
- 製品化に向けた評価実証を実施

